

 しもあか 二輪草学びのエリア (赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)	令和6年 9月 2日 板橋区立下赤塚小学校 校長 菊池 宏一 学校便り NO. 5 ホームページ http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/
--	---

令和6年度全国学力・学習状況調査における本校の現状

校長 菊池 宏一

令和6年4月18日に、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。今年は国語と算数の2教科での実施で、各教科における平均正答率は下記の通りです。

教科	全国平均(%)	都平均(%)	本校(%)	全国との差	都との差
国語	67.7	70	77	+9.3	+7
算数	63.4	68	72	+8.6	+4

2教科共に、昨年度同様、全国平均と東京都の平均を上回る結果となりました。全体的によくできており、学習内容がしっかりと定着しています。また、無回答率が低く、それぞれの問題に正対したことが伝わってきました。

国語で見られた課題は「思考力・判断力・表現力等」にある「読むこと」です。本校正答率は72.0%でしたが、全国平均(72.6%)よりも下回っています。人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかを問う記述式の問題でした。また、「我が国の言語文化に関する事項」を問う問題での無回答率(本校12.2%)は、全国平均(7.6%)ならびに都平均(10.5%)よりも高い数値となりました。日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立っているかをたずねる問題です。これは最後の問題で、時間がなくなり、解答を書けなかったためと思われます。今後は、限られた時間により多くの問題をこなす力の育成を視野に入れた学習活動を考えてまいります。

算数では、「D データの活用」の正答率(79.3%)が、全国平均(80.8%)と都平均(82.4%)を下回っています。円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題でした。データを活用することは、日常生活において必要な力の一つです。今後は、提示されたデータを考察し、自分の考えを表出させる活動を意図的に増やしてまいります。

全国学力・学習状況調査では、生活習慣等を調査する質問紙調査も行われました。いくつか気になる結果が出たので紹介します。

質 問 事 項	全国平均(%)	都平均(%)	本校(%)
朝食を毎日食べていますか	83.4	84.2	79.3
平日に、どれくらいの時間、スマートフォン等でSNSや動画視聴をしていますか(2時間以上の割合)	33.8	29.5	41.3
健康に過ごすため、学習したことや保健室の先生から教えられたことを生活に役立てていますか	82.3	80.8	75.8
将来の夢や目標を持っていますか	82.4	80.7	75.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.7	95.9	93.1
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	94.9	89.7

朝食は、1日の活力源となる重要な食事のため、ご家庭での言葉かけをお願いいたします。SNSや動画視聴の時間制限等は、お子様とよく話し合い、「SNS家庭ルール」を再確認してください。健康に過ごすための学習と行動化については、体育健康教育推進校として、大いに反省しなければなりません。今後の保健学習や保健指導の見直しに取り組みます。「将来の夢」「いじめ」「人の役に立つ」などは、特別の教科道徳を中心とした道徳教育全体の見直しを図り、心の教育に全力で取り組んでまいります。

新たな生活のスタート

生活指導主幹 長谷川 奨

- ① しっかりリズムを整えて
- ② もう一度復習
- ③ あんぜんに気を付けて
- ④ かいてきな夏休み

長かった夏休みも、終わりを迎えました。1学期の終業式の後、私から子供たちに向けて、夏休みに大切にしたいこと左のように「しもあか」のキーワードを使って伝えました。生活リズムや体調を崩すことなく、安全に素敵な夏休みを送ることができていたら幸いです。

本日より2学期が始まりました。2学期は、体育発表会や学習発表会などの大きな行事もあります。このような経験の一つ一つが、子供たちの大きな成長へとつながるとともに、生涯忘れることのできないかけがえのない思い出となるようにしていきたいと思います。まずは、生活リズムを「夏休みモード」から「学校モード」に切り替えていくことができるよう、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

最高のチーム

さて、7月26日から8月11日までパリオリンピックが開催されました。どの種目でも、日々熱戦が繰り広げられ、日本選手団の活躍も記憶に新しいと思います。また、このスポーツの祭典を通して、「努力」「友情」「フェアプレー」「諦めない心」「思いやり」「国際理解」「世界平和」など、たくさんの大切なことを学ぶことができたのではないのでしょうか。

パリオリンピックの中で、私の心に深く刻まれた言葉があります。それは、バレーボール男子日本代表のキャプテン、石川祐希選手の言葉です。バレーボール男子日本代表は、今年5月に開催された「バレーボールネーションズリーグ 2024」において、準優勝という輝かしい成績を残し、パリオリンピックでも金メダルが期待されていました。しかし、結果は準々決勝でイタリアにフルセットの末、惜敗となりました。その敗戦の直後、涙するチームメイトを傍目に、石川選手がインタビューに答えました。「このチームは、どんなチームでしたか。」という質問に、石川選手は「最高のチームだったと思います。」と胸を張って答えました。「金メダルを獲る」という目標を共有し、苦楽を共にしながら切磋琢磨してきた仲間だからこそ、出た言葉だったのではないかと、胸が熱くなったのを今でも覚えています。

私たちも「学校」「学年」「学級」など、様々なチームの中で生活をしています。その中では、楽しいことばかりではなく、辛いことや悲しいこともあると思います。それでも、後にふり返ったときに、「あの学級・学年・学校は、最高のチームだった!」と、子供・保護者・地域・教職員、みんながそう思えるような学校を目指し、これからも教育活動をすすめていきたいと思っています。

最後に、11月15日には、「令和5・6年度 東京都教育委員会 体育健康教育推進校」としての本校の研究成果の本発表も控えています。「体育・保健・食育」の三つの柱で推進してきた研究成果を「チーム下赤塚小学校」として力を結集し、胸を張って発表ができるよう、準備をすすめてまいります。

9月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
	2 始業式 避難訓練 たちばな指導始	3 給食始 SC相談日	4 委員会 計測5・6年	5 計測3・4年 4時間授業	6 集会 計測1・2年 たちばな保護者会	7
8	9 朝会 安全指導 4時間授業 (6-2 研究授業)	10 SC相談日	11 習熟	12	13 なかよし班活動	14
15	16 敬老の日	17 教育実習始	18 クラブ SC相談日	19 歯と口の健康教室 (4年)	20 4時間授業	21
22 秋分の日	23 振替休日	24 SC相談日	25 放課後学習	26 体育発表会児童打合せ (5・6年)	27 集会	28
29	30 4時間授業 (2-2 研究授業)					

※予定は変更される場合があります。ご了承願います。

放課後学習について

9月25日（水）に、放課後学習を行います。1学期中に申し込みをした児童が対象です。前回、参加するかどうかが児童自身に分からず、下校するかどうか迷う場面がありました。お子様と出席について必ず確認をするようにしてください。なお、自学自習の時間になります。一人でできる学習道具やドリル等を必ず持たせてください。なお、時間の途中で帰宅することはできません。

※※放課後学習の見守りボランティアを随時募集しています。ぜひご協力ください※※

熱中症にご注意

今年は高温になる予想が出ており、引き続き、熱中症になる可能性が高くなっています。熱中症は、暑さや湿気、水分不足などの環境要因が原因で起こる症状です。学校では、子どもたちの健康を第一に考えており、暑さ指数（WBGT）が30度を超えた時点で、休み時間の外遊びをはじめ、全ての運動や屋外活動は取りやめにしています。十分な水分補給や適切な休憩を心がけ、健康に過ごせますようご家庭でもご指導をお願いいたします。

メールシステム登録のご確認を

板橋区にはメールシステム（SumaMachi）があります。児童一人ずつの登録が必要になり、学校や区からのお知らせが配信されます。夏休み中も、緊急時や必要に応じて大事なお知らせがある場合もあります。ご確認いただき、まだ登録されていない方は早めに登録をお願いいたします。

～東京都教育委員会 令和6年度 体育健康教育推進校 先生方の研修をご紹介します～

3年 研究授業 社会科「商店の仕事」 3年3組 西村 佳祐



3年3組担任の西村佳祐です。6月13日（木）に食育をテーマにした研究授業を行いました。社会科の「商店の仕事」では、地域にみられる販売の仕事（八百屋やスーパーマーケット）について見学をしたり資料を使って調べ、まとめたりすることを通して、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高められるよう工夫して行われていることを理解することを目標に学習を進めていきました。

今回は、子供たちにゆかりがあり、商店としての長い歴史があり、学校給食の野菜を提供してくださっている「八百増商店」を教材として選択しました。2年生の生活科「町探検」の学習で見学をしたことがある児童や普段野菜を買いに行っているという児童もいれば、知っているけどお店に入ったことがないという児童もいました。しかし、62年間お客さんが絶えず来ていることを知ると、「なんでこんなに続けられるのだろう。」「お客さんのためにどんなことをしているのだろう。」と疑問が出ました。

その疑問を解決するために、直接「八百増商店」に見学をしたりインタビューをしたりしました。

すると、さらにいろいろな疑問が出ました。その中で「野菜はどこから来ているのか」という疑問が出たので、さらに調べていこうと進めました。



研究授業当日は、市村学校栄養職員と連携して、八百増商店の野菜の出どころである「板橋市場」について学習をしました。板橋市場の職員の方にも資料への参加に協力していただきました。

子供達は、食を通して、商店の仕事の工夫や努力を学ぶだけでなく、私たちが食事をするまでに多くの人が関わっていることを実感していました。

給食の時間にも、子供達から「今日の野菜は八百増商店から来ているよ！」「八百増商店の野菜おいしいな！」と喜びながら給食を食べる姿が見られました。

この授業だけでなく、年間を通して食育に取り組んでいくことで、今回の学びがより深まっていくと考えています。